



竹鶏ファームをご愛顧いただくお客様へ

出前たまご終了のお知らせ

いつもご愛食頂きありがとうございます。
竹鶏ファーム代表の志村竜生です。

2023年が始まり、早1ヵ月が経ちました。

昨年も様々なことがありましたが、新しい年を迎え、養鶏を続けていられることにまずはこの場を借りて感謝いたします。ご愛食いただくお客様、仕入先様やお取引先様、家族や従業員の皆様、いつも支えていただきありがとうございます。

さて、この一年で竹鶏ファームを取り巻く環境も大きく変化し、かつてないほどに苦しい状況となってきました。飼料価格の高騰によるコスト高、全国的な鳥インフルエンザの蔓延によるリスク増など、私たち自身で対策や努力をしても難しい部分が多く、創業以来はじめてと言っているほどの困難に直面しています。

コロナ禍によって受けたダメージも束の間、二重三重で押し寄せてくる荒波に何とか従業員全員で歯を食いしばって耐え忍んでいます。

こうしたことを受けて、年明け早々に2割ほど卵の生産量を減らし、出前たまごのサービス終了を決断いたしました。竹鶏ファームには約4万羽のにわとりがいて、365日毎日生まれる卵をたくさんの皆様にお届けしています。生産減と出前たまご終了の道を選んだのには、原価高騰と鳥インフルへの対処もありますが、それ以上に私たちのスローガンである、

日本で一番ありがたいの `わ、が生まれる養鶏場

を今一度ブレずに目指すにはどうすべきか、を熟考した結果でした。

コロナ禍で始めた個人向け宅配「出前たまご」は、卵が余って途方に暮れていた時、すぐそばに直接届けられるお客様がいるじゃないか、求められるならお届けして喜んでもらおうと始めたことでした。

出前たまごを通じて、「ありがとう、頑張ってるね」と声をかけて下さるお客様ばかりで、どれだけ私たちに力を与えてくれたか計り知れません。本当にありがとうございます。

続けていきたい想いも強く、スタッフで何度も話し合いましたが、続けるためには、生産規模を増やすことと、倍近い値上げをお客様にお願いしなければなりません。それは私たちの理念に反することから、終了するという苦渋の決断に至りました。

地域に根差して一つ一つを丁寧につくる「品質」の良さ。働くスタッフが笑顔でイキイキと仕事をできるよりよい「環境」づくり。そして、関わるみなさんに「竹鶏さんがいてくれてよかった」と思ってもらえる養鶏場でありたいと考えています。

出前たまごは、開始から丸3年という節目で幕を閉じ、直接お客様へお届けすることは難しくなりますが、宅配便サービスは継続していきます。また是非直売所へも足を運んでいただくと嬉しいです。竹鶏ファームはさらなる進化をし社員一丸となり新しい未来をつかっていきます。どうかこれからも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

(有)竹鶏ファーム 代表取締役

志村 竜生

